

アユの中間 育成施設完成

稚魚30万匹飼育

入善

入善町高畠の黒部川内水面漁業協同組合が建設したアユ中間育成施設の完成式は6日、現地で開かれ、関係者約50人が祝った。

鉄骨平屋建てで555平方メートル、100トの水槽が屋内に3基、屋外に2基ある。水温13・8度の地下水をくみ上げ、稚魚30万匹を飼育できる。事業費は1億6463万円。

16日に山形から1万匹の稚アユ10万匹を運び込む予定。15日ほどまで育て、6月16日にアユ漁が解禁される前に黒部川に放流したい考えという。

式では小路正三組合長が「黒部川アユのブランド化を目指すとともに、にぎわいを生み出したい」とあいさつ。

古本一司黒部河川事務所長と津田康志県水産漁港課長、笹島春人町長、多田隆司関西電力北陸支社長が祝辞を述べた。テープカットに続き、出席者は施設内を見学した。



30万匹を飼育できるアユの中間育成施設